

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第143期 第2四半期連結 累計期間	第143期 第2四半期連結 会計期間
----	--------------------------	--------------------------

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

当第2四半期連結会計期間

事業の種類別セグメントの名称

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について、重要な変更はありません。

なお、当社の「株式会社の支配に関する基本方針」は次のとおりであります。

基本方針の内容

当社グループは、セルロース化学、有機合成化学、高分子化学、火薬工学をコア技術に、パルプなどの天然素材を

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

前四半期連結会計期間末において計画中でありました当社大竹工場の液晶表示フィルム用酢酸セルロース製造

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(5) 【大株主の状況】

平成20年9月30日現在

氏名又は名称

住所

所有株式数
(千株)

第5【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。なお第1四半期連結会計期間（平成20年4月1日から平成20年6月30日まで）より、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成20年8月7日内閣府令第50号）附則第7条第1項第5号のただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則を早期に適用しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成

[Redacted content]

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第 2 四半期連結累計期間】

(単位 : 百万円)

当第 2 四半期連結累計期間
(自 平成





当第2四半期連結累計期間

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第 2 四半期連結会計期間末
(平成20年 9 月30日)

前連結会計年度末
(平成20年 3 月31日)

- 1 たな卸資産に含まれる科目及び金額は次のとおりであります。

製品(半製品を含む)	46,015百万円
仕掛品	11,524百万円
原材料及び貯蔵品	26,122百万円

(四半期連結損益計算書関係)

当第 2 四半期連結累計期間
(自 平成20年 4 月 1 日
至 平成20年 9 月30日)

- 1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は
次のとおりであります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第2四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年9月30日)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対
照表に掲部

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期連結会計期間(自 平成20

【海外売上高】

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書